



2021. 7 No10

はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト
福岡市早良区梅林6-23-3
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

「ホールでの日常風景」

水野 英尚

「SharedHome はたけのいえ」で、4人暮らしが始まって3ヵ月が経ちました。それぞれの個性が際立ってきているように感じています。このプロジェクトの発起人であり、最初の住人であるHさんは、みんなが集まる共有スペース通称「ホール」でワイワイガヤガヤと世話人さん、ヘルパーさん、訪問看護さん、お母さんたちが行き交いながら過ごしている様子を、自室で目をパチパチさせてしっかりと聞いています。時々上がるY君の「雄叫び、(奇声かな?)」があっても、「ニヤリ」としながらのお姉さん対応です。また、2番目に入居したT君。以前の静かな様子とは変わってしまっても、相変わらずの「クールさ」を醸し出しています。ホールでの様子を自室のベッドの柵のすき間から、キリッとした眼光でいつも観察しています。こちらが少々騒ぎ過ぎるので、「ちょっと静かに！」とでも言っているのかな？と恐る恐る彼の方を見ると、これまたクールな寝顔でスヤスヤと眠っています。

さらに、3番目の入居者となってNさん。入居初日、大丈夫かな？眠れるかな？とお母さんや周囲の心配をよそに、グーグーと豪快に眠ったという「はたけ伝説」をもたらしてくれました。彼女が楽しみにしているデザートタイム、あまりの喜びに腕を振り回して、プリンを吹き飛ばす豪快さは健在です。そして、4番目となるY君。彼ほど、はたけのいえの「ホール」を愛してやまない人はいません。朝起きる「ホールお願い」(ホールに行きたいの意味)、着替えやトイレのために自室に戻っても、ヘルパーさんに「ホールお願い!」、お風呂に入っている時も「ホールお願い!」、いよいよ眠気でまぶたが落ちていくその時まで、彼は「ホール」で過ごしながら、そこに行き交う人たちに「〇〇さん、晴れてる」「〇〇さん、コン(舌を打ち鳴らす)」と、相手とのコミュニケーションを楽しんでいます。そして、そんなムードメーカーでお調子者のY君の様子を、3人がそれぞれの居室から、「甘えん坊だなあ」とか、「ちょっと調子に乗り過ぎ!」とか、時には「うるさい!!」なんて声にならない声が響き合っているんじゃないかなどと、想像しています。そんなこんなで、はたけのいえのホールはとてにぎやかです。いつでもどうぞ!

